

特集 議会×須恵町スポーツ推進委員会 座談会

スポーツの普及活動

推進委員の声を聴きました

スポーツ推進委員会とは、各地域のスポーツ推進のため、地域住民と行政との仲介役になり、地域住民に密着してスポーツ推進活動を行う組織です。
推進委員は、スポーツ基本法に基づき、須恵町教育委員会が委嘱する非常勤の公務員となります。



松山 力弥 議長



田ノ上 真 議員



今村 桂子 議員



三角 栄重 議員



稲永 辰己 議員



令和3年8月5日対談

スポーツを通しての 健康づくりと人づくり

活動の中で勉強になる事が多く、やりがいもあります。スポーツを通して友達とコミュニケーションもとれます。卒園生が地域の代表としてスポーツ大会などに参加している姿が大好きです。

委員 古賀 香津代 さん(26年目)

競技する側からコーディネートする側になり、多くの人に支えられた経験を生かして、みんなで協力しながら軽スポーツなど運動する機会をつくっていきたいです。

会長 稲永 太市 さん(10年目)

体を動かしてコミュニケーションをとる事で、すごくプラスになりました。地域の方の思い、親子の接し方、スポーツを通しての人づくりなど、色々な勉強をさせてもらい職業を持ちながら指導者として頑張っています。

委員 長澤 涼子 さん(41年目)

スポーツ推進計画で、幼少期から高齢者までの仕組みづくりに関わった事は、素晴らしい事でした。子ども達が目をキラキラさせながら楽しく汗をかいている。体を動かす事が楽しいと思える子どもを育てていきたいです。

委員・中学校選出
稲永 優子 さん(6年目)

須恵町は校区コミュニティがあり、子どもから高齢者まで関わっています。私は、学校と地域の情報の橋渡しをしています。子ども達は、学校だけでなく、地域でも支えられており「住み・見る・支える・知る」を地域でも実感して欲しいと思います。

委員・小学校選出
井上 利奈 さん(5年目)

歴史は？

須恵町スポーツ推進委員会のあゆみを教えてください

推進委員
昭和36年制定の「スポーツ振興法第19条」を基に、体育指導員10名で発足しました。
平成23年に50年ぶりの改正が行われ「スポーツ基本法」が施行されたことにより、体育指導員からスポーツ推進委員に呼称が変わりました。

推進委員
発足当時は、健康課とタッグを組み活動していました。会議の後に、玄米食をいただいた事を思い出します。現在は、社会教育課の所管で活動しています。

体制・役割は？

体制はどうなっていますか

推進委員
12名で活動しています。その中の6名が女性です。小中学校の先生も入っています。

推進委員の役割は何ですか

推進委員
スポーツの実技指導やスポーツに関する助言を行います。

推進委員
近年は、地域スポーツの推進役として、地域住民と行政との調整役(コーディネーター)を担っています。地域住民の声を行政に届ける事やスポーツ関連組織と事業の連携を図るなど、スポーツ推進のための事業の企画運営を担う役割の重要性が増してきています。

活動内容は？

どのような活動を行っていますか

推進委員
福岡県等が主催する研修会(年6回)などに参加しています。また、指導者向けに年3回講師による『スポーツ指導のあり方(体のしくみ、メンタル、栄養、障害者スポーツなど)』の研修や勉強会を行っています。

推進委員
町制施行駅伝大会やみんなのスポーツ研修会(兼スポーツ指導者認定研修会)の企画運営をしています。また、スポーツ協会や各団体が主催するスポーツ事業の提案、協力もします。

コロナ禍では？

コロナ禍での実施の現状は

推進委員
コロナ禍では、多くの人が集まっているスポーツ実施は困難な状況です。そこで、SNSなどを利用してジュニアの指導をしている人などへの研修として、ストレッチのやり方などについて配信を行いました。

スポーツで私も町も元気に

スポーツ推進委員の皆様には、軽スポーツやチャレンジ子どもスポーツ教室など、幅広い年齢層と地域の人々へのスポーツ普及と推進に携わっていただき感謝いたします。
地域の関わりが希薄となりつつある今、スポーツを通して地域住民が関わり合う機会を活用する事で、人との交流を深め、町も元気になり、自らも軽スポーツを楽しみながら、健康寿命を延ばしていきたいものです。

※対談中は、撮影時のみマスクを外してもらいました。